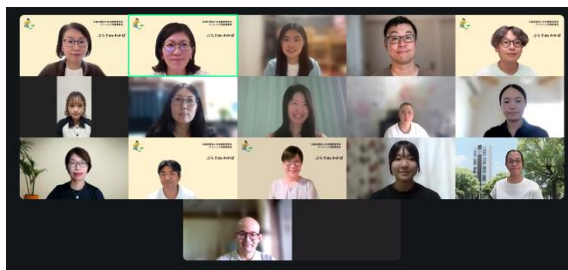


2026 年 9 月 9 日

「ぶらさ da わかば」 日時：2026/8/23(日) 13:30-15:00

担当：秋田美帆・安達万里江・立部文崇・春日淳一・戸川朝子

2026 年度「ぶらさ da わかば」を実施いたしました。「ぶらさ da わかば」は、日本語教育の世界で「わかば」な人に、先を歩く「センパイ」との対話や交流の機会を提供する企画です。今年度は、申し込みをしてくださったわかばさん 9 名に事前に希望を聞き、その希望に沿って 3 名のセンパイにご協力いただきました。



当日は、ブレイクアウトルームに分かれ、40 分間の対話セッションを実施しました。また、昨年度までは対話セッション後の追加の交流機会として設けていた「もっと話したいタイム」を、今年度はプログラムの一部として位置づけ、20 分間実施し、異なるセンパイとも話せる機会を設けました。

対話では、センパイのキャリアや日本語教育の現場での経験、研究との関わりなどについて、わかばさんからさまざまな質問が寄せられました。また、わかばさん同士がお互いの経験や考えを知る機会にもなり、活発なやり取りが行われました。

事後アンケートでは、わかばさんから「先輩方のキャリア形成についてのお話をいろいろ伺うことができて、大変参考になりました」「実際に現場経験のある先生方からの話を聞くことができ、非常に有意義な時間でした」といった声が寄せられました。また、「同じルームに入った方々の様々な経験も聞けてよかった」という声もあり、センパイとの対話だけでなく、参加者同士の交流にも意義を感じていたことが窺えます。一方で、「時間も限られていたということもあってか、それぞれ質問をしたにもかかわらずそれに対するお考えを伺うことができなかった」というコメントもありました。

センパイからも、「参加されたみなさんがとても熱心で、私自身も楽しくお話することができました」「こうした交流は新鮮だった」といった声がありました。一方で、参加者の実務上の悩みを、自身の今後のキャリアや研究・実践との関わり方を考える問いへとつなげるため、事前の問いかけや委員会による媒介を工夫してはどうか、という意見も寄せられました。

今後は、事前の問いかけ、マッチング、対話の進め方などについても検討を重ねながら、わかばさんとセンパイ双方にとって、より充実した交流の場となるよう取り組んでいきたいと考えています。引き続き、本企画へのご協力、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。